

## 「ドリームのうみ」備船について

### (1) 経緯

- H24. 1. 27 芸備商船株から公共交通協議会へ海上分科会開催の要請  
 2. 3 海上分科会を開催。芸備商船株の報告、今後について協議  
 2. 29 第4回市公共交通協議会で方針報告・協議  
 3. 16 市議会全員協議会で方針報告・協議  
 4. 1 江田島汽船株へ「ドリームのうみ」備船

### (2) 江田島汽船株の収支見込額

- ・ 今年度の年間収支見込額は、「ドリームのうみ」の燃費が想定より悪かったこと、船舶の不具合による備品・消耗品の増加等が影響し約 900 万円の赤字が予測されている。
- ・ 来年度にむけては、燃料単価等の不確定要素はあるが、営業費用の更なる圧縮を図ることにより、今年度と同額の備船料（50 万円）であれば、収支が均衡する見通しである。

[収支見通し]

(千円)

項目		H24 当初見込	H24 見込	H25 見込
営業収益		283,890	279,541	273,989
営業費用	運航費	144,490	152,055	144,563
	船賃	120,540	126,408	119,800
	その他	17,600	13,170	9,280
	合計	282,630	291,633	273,643
営業外費用		1,250	▲2,946	273
経常損益		10	▲9,146	73

### (3) 「ドリームのうみ」備船

- 江田島汽船株へ引き続き、市の所有する「ドリームのうみ」を貸与する。
- 貸与の条件は今年度と同様とする。
  - ・ 備船料（税別） 月額 50 万円（年間 600 万円）
  - ・ 備船の形態は、借主が期間中の検査費用（ドック等）をもつ裸備船とする。
- 平成 26 年度以降は、西能美航路再々編の協議を踏まえて再度整理する。

※ 「ドリームのうみ」建造に伴う償還金返済のため、償還金の返済額と備船料の差額について、一般会計から交通船事業会計に繰出を行う。

25 年度償還金 25,277 千円 備船料 6,000 千円 差額 19,277 千円